

当製品を使用してフロントをディスクブレーキに変更するには、下記の当社製品が必要です。

- 取り付けネジサイズ10mmのミラー（各1個入り）
- オーバルスライドタイプミラー（06 01 110）
- NC31タイプミラー（06 01 111）
- 角スライドタイプミラー（06 01 112）
- MINIミラー（右専用）（06 01 113）
- ミラーアダプター（2個入り）（06 01 100）

純正ミラー及び取り付けネジサイズ8mmのミラー使用時のみ必要

フロントブレーキを油圧ディスクにした場合、フロントマスターシリンダーを取り付ける為、STDスロットルハウジング（ブレーキレバー一体式）を取り外す必要がありますので、当社製ハイスロットルセット若しくはホンダ純正部品が必要です。

当社製品

- ハイスロットルセット（ケーブル長810mm）（09 02 02）
- ハイスロットルセット（ケーブル長700mm）（09 02 021）
- 当社製キャブレターキット用（KEIHIN PC18キャブレター以外）

ホンダ純正部品

- スロットルハウジング（1個）（53168 166 000）
- スロットルハウジング（1個）（53167 GE4 000）
- パンスクリュー 5×2.2（2個）（93500 05022 0G）

STDキャブレター及び当社製KEIHIN PC18キャブレター用

フレームNO. Z50J-1300017~1510400の車両に当製品を取り付ける場合、別途下記部品が必要です。

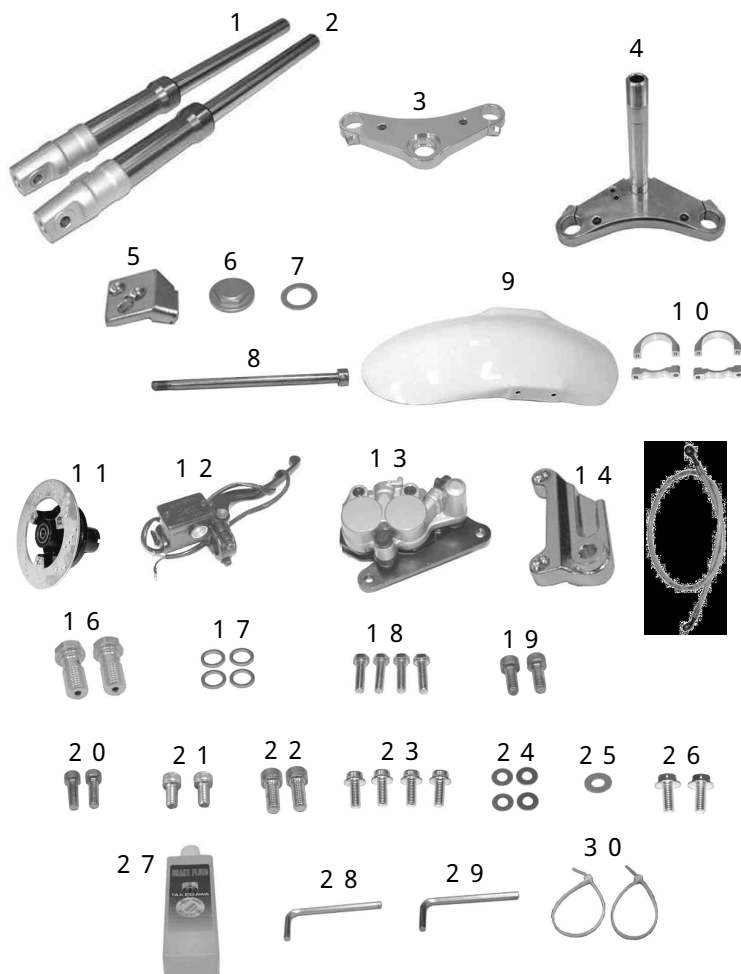
遠心クラッチ車

- コンビネーションスイッチASSY（02 01 015）

マニュアルクラッチ車

- クラッチレバー&コンビネーションスイッチASSY（02 01 016）

～ 商 品 内 容 ～



| 番号 | 部 品 名 | 個数 |
|----|------------------------|--------|
| 1 | L.フロントフォークASSY. | 1 |
| 2 | R.フロントフォークASSY. | 1 |
| 3 | フォークトップブリッジ | 1 |
| 4 | ステアリングステム | 1 |
| 5 | ステアリングロックブラケット | 1 |
| 6 | ステムナット | 1 |
| 7 | ステムナットワッシャ | 1 |
| 8 | フロントアクスルシャフト | 1 |
| 9 | フロントフェンダー | 1 |
| 10 | フロントフェンダーブラケット | 2 |
| 11 | フロントホイールハブCOMP. | 1 |
| 12 | フロントブレーキマスターシリンダーASSY. | 1 |
| 13 | フロントキャリパーASSY. | 1 |
| 14 | フロントキャリパーブラケット | 1 |
| 15 | フロントブレーキホースCOMP. | 1 |
| 16 | パンジョーボルト | 2 |
| 17 | シーリングワッシャ | 4 |
| 18 | 六角ボルト | 5×20 4 |
| 19 | ソケットキャップスクリュー | 6×12 2 |
| 20 | ソケットキャップスクリュー | 6×20 2 |
| 21 | ソケットキャップスクリュー | 8×16 2 |
| 22 | ソケットキャップスクリュー | 8×20 2 |
| 23 | フランジキャップスクリュー | 8×20 4 |
| 24 | ブレーンワッシャ | 5mm 4 |
| 25 | ブレーンワッシャ | 6mm 1 |
| 26 | フランジボルト | 6×15 2 |
| 27 | ブレーキフルード(DOT-4) | 1 |
| 28 | レンチ | 5mm 1 |
| 29 | レンチ | 6mm 1 |
| 30 | タイヤップ | 2 |

～ 取 り 付 け 要 領 ～

分解

1. フロントのアクスルナットを緩めます。
2. リヤメンテナンススタンドとエンジン下部に適当な台を置き、車両を安定させた状態で作業を行います。
フロントタイヤが少し浮く程度の高さにします。
3. ヘッドライトのパンスクリューを外し、ストップランプスイッチ、ウインカースイッチの配線を外します。
4. スロットルハウジングのパンスクリューを外し、スロットルハウジング、スロットルパイプを取り外します。
5. ウインカースイッチのパンスクリューを外し、ウインカースイッチを取り外します。
6. ヘッドライトケースの左右のボルトを外し、ヘッドライトを取り外します。
7. ホーン、ウインカーを取り外します。
8. アクスルシャフトを抜き取り、フロントホイールを外します。
9. トップブリッジ裏面のハンドルロワーホルダーのナットを外し、ステアリングハンドルASSYを取り外します。
10. フォークボルト、ステムナット及びワッシャを外し、トップブリッジを取り外します。
11. トップスレッドを外し、フォークASSYを取り外します。
ベアリングのボールを無くさないようにして下さい。
12. ノーマルのステアリングシステムからハンドルロックを取り外し、ステアリングロックブラケットに取り付けます。
トルク：9 N・m
(0.9 k g f・m)

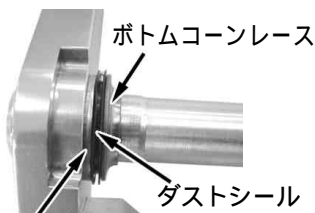


組み付け

13. ステアリングロックブラケットをソケットキャップスクリュー(6×15)でステアリングシステムに取り付けます。
トルク：12 N・m
(1.2 k g f・m)



14. ステアリングシステムのボトムコーンレースをポンチドライバーやタガネ等取り外し、ダストシール、ダストシールワッシャを取り外します。ジュラルミンシステムシャフトにダストシールワッシャ、ダストシール、ボトムコーンレースをそれぞれ取付けます。



ボトムコーンレース ダストシールワッシャ

15. トップコーンレース及びボトムコーンレースにグリスを塗布し、ベアリングをステアリングシステム、ヘッドパイプに取り付け、トップコーンレースをヘッドパイプに取り付けます。ベアリングのボールが樹脂に組み込まれていないタイプの場合はボトムコーンレース、トップコーンレースにそれぞれ21個ずつ取り付けて下さい。ベアリングはグリスを塗る前に洗油で洗い、ゴミを付着させないで下さい。



16. ステアリングシステムをヘッドパイプに通し、トップスレッドは手でいっぱい締め付けます。左右に4、5回躍動させベアリングをなじませ、約1/8回転戻し、ガタが無く軽く動くことを確認して下さい。



17. ステアリングシステムにフロントフォークのアクスルホルダーにブレーキの回り止めが付いている方を進行方向に向かって右側に通し、ステアリングシステム割り締めボルト(8×20)を仮り締めします。



18. 左側も右側と同様に取付けます。フロントフォーククランプタイプのヘッドライトステーを使用する場合は、ヘッドライトステーをフロントフォークに通して下さい。



19. ワイヤーハーネス等の取り回しがノーマルと同じになるようにしながらトップブリッジをフロントフォークとステムシャフトに通し、ステムワッシャを入れてステムナットを指定トルクで締め付けます。
トルク：59 N・m
(6 k g f・m)



20. ステアリングシステムの割り締めボルトを緩め、インナーチュブ突き出し量を左右同じになる様に調整します。



21. ステアリングシステムの割り締めボルトを指定トルクで締め付けます。
トルク：26 N・m
(2.7 k g f・m)
22. トップブリッジの割り締めボルト(6×20)を指定トルクで締め付けます。
トルク：12 N・m
(1.2 k g f・m)
23. ステアリングハンドルパイプを、ハンドルホルダーにセットし、トップブリッジに取り付けます。ハンドルホルダーのソケットキャップスクリュー(6×50)を指定トルクで締め付けます。
トルク：12 N・m
(1.2 k g f・m)
ハンドルホルダーは前後の隙間が同じになる様に締め付けて下さい。



24. マスターシリンダーASSY、ウインカースイッチ(又はコンビネーションスイッチ)、左グリップをハンドルに取付けます。

トルク

ウインカースイッチ

: パンスクリュー

4 N・m

(0.4 kg f・m)

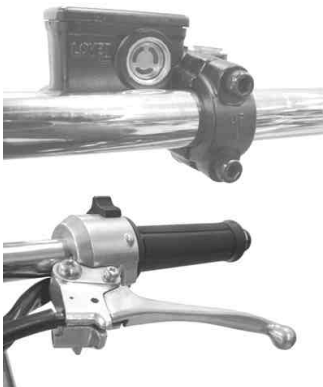
マスターシリンダー

ASSY.

: キャップスクリュー

12 N・m

(1.2 kg f・m)



25. ホーンを取付けます。(写真はステアリングシステムに取り付けた場合です。)

ステアリングシステムに取り付ける場合、写真の様に折り曲げ、フランジボルト(6×15)で取付け、締め付けます。

トルク: 12 N・m

(1.2 kg f・m)



26. フロントフェンダー、ブラケットを写真のように6角ボルト(5×20)で取付け、仮締めします。

ノーマルフェンダーを使用する場合、フロントフェンダー及びボルトをそのまま付け替えて下さい。

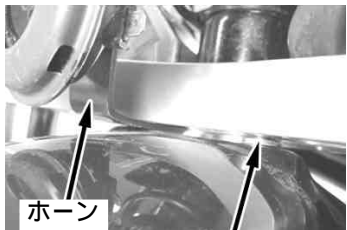


6角ボルト
5×20
ブラケット プレーンワッシャ
5mm

ノーマルフロントフェンダーを使用し、ホーンをステアリングシステムに取り付ける場合、フロントフェンダーとステアリングシステムの間にはホーンを挟み、もう片側はプレーンワッシャ(6mm)を挟むようにして取付け、フランジボルト(6×15)で締め付けます。

トルク: 12 N・m

(1.2 kg f・m)

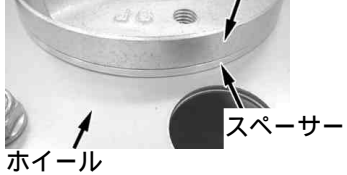


ホーン
ワッシャ

27. フロントホイールのハブとホイールを固定しているナットを取り外し、ホイールとハブを分離します。

28. 弊社フロントホイールハブASSYをエアバルブがディスクローターの反対側になるようにフランジキャップスクリュー(8×18)でホイールに取付け、仮締めします。

フロントホイール
ハブCOMP.



29. キャリパーをディスクローターに取り付けます。



30. キャリパーをソケットキャップスクリュー(8×16)でキャリパーブラケットに取付け、仮締めします。



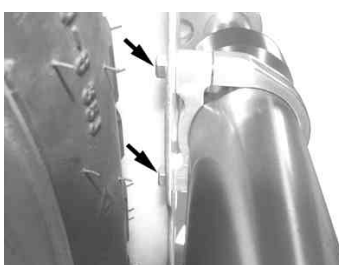
31. キャリパーブラケットの凹みをフロントフォークの凸部に合わせ、付属のアクスルシャフトを進行方向に向かって右側からフロントフォーク、キャリパーブラケット、フロントホイールASSY、メーターギア、フロントフォークの順になるように右側から通し、仮締めします。



32. フロントフェンダーの高さを調節し、ブラケットのボルトを締め付けます。

トルク: 5 N・m

(0.5 kg f・m)



33. ホイールとハブを固定するフランジキャップスクリューを締め付けます。

トルク: 25 N・m

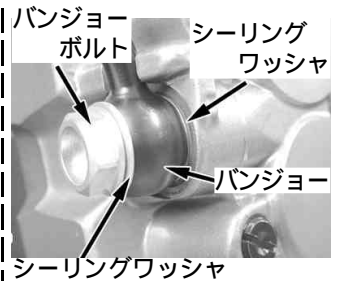
(2.5 kg f・m)



34. ブレーキホースの曲がっている方のバンジョーを、2枚のシーリングワッシャで挟むようにしてバンジョーボルトでキャリパーに取り付けます。

トルク: 30 N・m

(3.0 kg f・m)

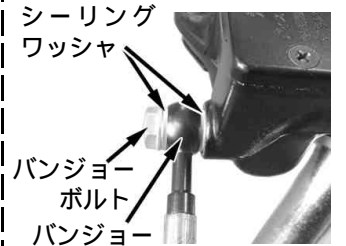


35. リバウンドしてもブレーキホースが突っ張らないようにマスターシリンダーASSYまで取り回します。

36. マスターシリンダーASSYにバンジョーを、2枚のシーリングワッシャで挟むようにしてバンジョーボルトで取付けます。

トルク: 30 N・m

(3.0 kg f・m)



37. ブレーキホースが他の部分と干渉しないようにタイラップで固定し、余った部分はニップバ等で切り取ります。

パウンド、リバウンド時にホースが突っ張らないように固定して下さい。

38. スロットルパイプをハンドルに取り付けます。



39. ハイスロットルセットの口ワスロットルハウジングにセットのスロットルケーブルを仮止めし、スロットルパイプに取り付けます。



40. パンスクリューでアッパースロットルハウジングを口ワスロットルハウジングに取り付け、パンスクリューで締め付けます。
トルク：4 N・m
(0.4 kgf・m)



41. スロットルケーブルをノーマルと同様にキャブレターまで取り回し、キャブレターに取り付けます。

42. スロットルケーブルの六角ナットを締め付けます。



43. ヘッドライトケースをヘッドライトステーに取り付けます。

トルク：2.5 N・m
(2.5 kgf・m)

44. ウィンカーを取り付けます。
トルク：1.2 N・m
(1.2 kgf・m)

45. ストップスイッチサブハーネス、ウィンカースイッチ(コンビネーションスイッチ)の配線を接続します。

46. ヘッドライトをヘッドライトケースに取り付け、パンスクリューで締め付けます。



47. リアメンテナンススタンドと台から車輛を下ろします。

48. アクスルナットを締め付けます。
トルク：6.2 N・m
(6.3 kgf・m)

49. キャリパーブラケットのフラットヘッドスクリューを締め付けます。
トルク：2.5 N・m
(2.5 kgf・m)

50. 各部をもう一度指定トルクで増し締めします。

51. ブレーキのエア抜きを行います。ブレーキのエア抜き要領は、別紙を参照して下さい。

マスターシリンダー、キャリパーのエア抜き作業

- ブリーダバルブを締め付け、リザーバタンクにブレーキ液を上限まで注入し、ダイヤフラム、セットプレートを取り付けます。
- ブレーキレバー操作を繰り返し、ブレーキ液レベルに注意しながらキャリパー、ブレーキホース、マスターシリンダー内にブレーキ液を満たします。この操作をリザーバタンク内の穴から気泡が出なくなるまで(ブレーキレバーの操作に重みを感じるまで)行います。
- ブレーキレバーを数回操作し、作動させた状態ブリーダバルブを1/2回転緩め、再度締め付けます。ブリーダバルブを締め付けるまで、レバーを放さないで下さい。
- ブレーキレバーをゆっくり放し、完全に戻ったら数秒間放置します。
- 3、4の作業をブリーダバルブ、リザーバタンクから気泡が出なくなるまで繰り返します。
- ブリーダバルブを締め付けます。
トルク：6 N・m (0.6 kgf・m)

フロントフォークオイルの交換要領

- フォークトップボルトを緩めます。
- フロントのアクスルナットを緩め、ナットのみを取り外します。
- リアメンテナンススタンドとエンジン下部に適切な台を置き、車両を安定させた状態で作業を行います。フロントフォークがちょうど伸び切る程度の高さにと作業がしやすくなります。
- アクスルシャフトを抜き取り、フロントホイールを外します。
- トップブリッジ、ステムの割り締めボルトを緩めフォークを取り外します。
- トップボルトを飛び出さないよう注意して外します。オイルパンなどを用意し、フォークを逆さにしてスプリングを抜き取ります。
- インナーチューブを伸縮させフォークオイルを抜き取ります。(数分間インナーチューブを下側にし放置してください。)
- フロントフォークを立て、フォークオイルを注入します。
フォークオイル : 20番
フォークオイル量 : 71cc (一本)
- フォークスプリングに付着したオイルを拭き取り、ピッチの狭い方を底に向けスプリングを入れます。トップボルトを取付け、仮締めします。
- フロントフォークをステム、トップブリッジに取り付け、割り締めボルトを仮締めします。
- トップボルトを指定トルクで締め付けます。
トルク：2.0 ~ 2.4 N・m (2.0 ~ 2.5 kgf・m)
- ステアリングステム、トップブリッジの割り締めボルトを指定トルクで締め付けます。
トルク：ステアリングステム 2.6 N・m (2.7 kgf・m)
トップブリッジ 1.2 N・m (1.2 kgf・m)
- フロントホイールを、外したときと逆の手順で取り付けます。
トルク：アクスルナット 6.2 N・m (6.3 kgf・m)

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>

ブレーキのエア抜き要領

⚠ 注意

ブレーキ液補給時にゴミや水を混入させない事。
 銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。
 抜き取ったブレーキ液は再使用しない事。
 シーリングワッシャは再使用しない事。
 ブレーキ液は塗装、プラスチック、ゴム面を傷めるので部品類に付着させない事。
 ブレーキホースを外すなど油圧系統に空気が混入した場合は、油圧系統のエア抜きをする事。
 規定トルクは必ず守る事。
 ブレーキ液は必ず指定のブレーキ液を使用する事。

マスターシリンダーASSYの2本のフラットパンスクリューを外しマスターシリンダーキャップ、ダイヤフラムを外します。



キャリパーのブリーダーバルブに透明なブリーダーホースをつなぎホースの反対側に適当なカップなどで受ける様にします。



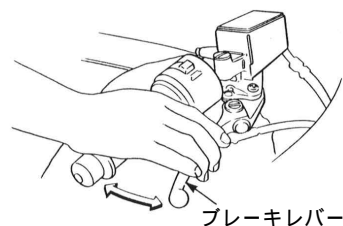
マスターシリンダーのオイルカップ部にブレーキ液を上限線まで補給します。



⚠ 注意: ゴミや水を混入させない事。

⚠ 注意: 銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。
 ブレーキオイル DOT4.

ブリーダーバルブを1/2回転緩め、ブレーキレバーを握る、放すを繰り返し、ブリーダーバルブからブレーキ液が充分出てくるまでこの操作を繰り返します。
 オイルカップのブレーキ液量に注意し新しいブレーキ液を補充しながら作業を行って下さい。



⚠ 警告

ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。万一、付着した場合はパッドは交換し、ディスクローターは脱脂する事。損傷部品が見つければその部品は必ず新品と交換する事。

ブレーキレバーを握った状態のままにしてキャリパーのブリーダーバルブを締め付けます。
 ブレーキレバーをゆっくり戻し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置します。



ブレーキレバーを握ったまま、キャリパーのブリーダーバルブを1/2回転緩めた後、再び締め付けます。

ブレーキレバーをゆっくり戻し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置します。

ブリーダーバルブから気泡が出なくなるまで、この操作を繰り返します。

時々、ブレーキ液量を確認し、下限線付近まで減少していれば補給します。

エアーの混入がなければブリーダーバルブを規定トルクで締め付けます。



⚠ 注意: 必ず規定トルクを守る事。

$T = 6 \text{ N} \cdot \text{m} (0.6 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

オイルカップの上限線までブレーキ液を補充し、ダイヤフラム、マスターシリンダーキャップをフラットパンスクリューを用いて取り付けます。



⚠ 注意: ゴミや水を混入させない事。

⚠ 注意: 銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。
 ブレーキオイル DOT4.